

工事店様用

自家消費向け

ZMPSC

エコめがね

自家消費モバイルパック

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

山洋電気製 パワーコンディショナ用 Ver1.1

SV センサ設定ツール 設定内容

<PCS メーカー> 山洋電気(单相)

<PCS 型式> 「P61B (LCD パネル TypeⅢ/TypeⅢC 経由)」

対象型式:

P61B

<注意>

LCD パネル TypeⅢまたは TypeⅢC を介してパワーコンディショナと接続いただく必要があります。
TypeⅢ、TypeⅢC 以外の LCD パネルでは本製品をご利用いただけません。
また、TypeⅢC と接続いただいた場合も、出力制御機能はご利用いただけません。

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがね自家消費モバイルパック（以下 自家消費モバイルパック）をご利用いただくにあたっては、パワーコンディショナに接続された LCD パネルと自家消費モバイルパックの SV センサ間をケーブルで接続する必要があります。本マニュアルでは、「LCD パネル - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

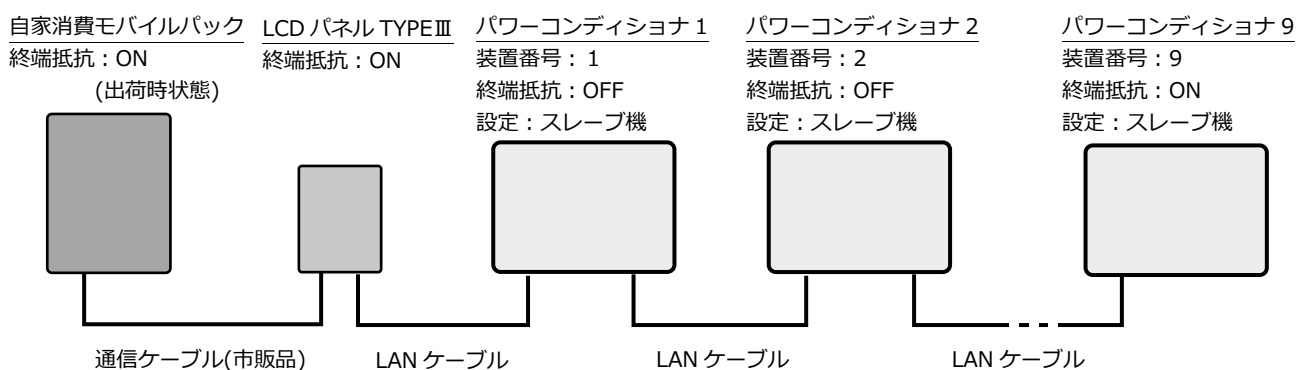
2. システム構成

ご利用にあたっては、山洋電気製 LCD パネル(TYPEⅢ)を別途ご準備いただく必要があります。以下に、パワーコンディショナ 9 台接続のシステム構成例を記載します。

※接続可能台数につきましては、弊社 HP をご確認ください。

https://www.eco-megane.jp/mc_pcs

LCD パネル TypeⅢを介して P61B552SJ を 9 台接続する場合



3. LCD パネル–SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

LCD パネル–SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材・工具を以下に記載します。また、その他のパワーコンディショナ間の通信ケーブルや LCD パネル–パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等を確認の上、市販品を入手、加工してください。

●部材 (LCD パネル - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-SCF 2P (2 対) 0.5mm ² (市販品) または相当品	1 本
絶縁テープ	-	任意の長さ

<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルに必要な部材について以下に記載します。
パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認の上、市販品を入手、加工してください。

部材名	サイズ・規格	数量
LAN ケーブル	CAT5 以上、ストレート 8 芯、 AWG24 (0.2mm ²) 以上	(PCS 台数-1)本

<参考>LCD パネル-パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

LCD パネル-パワーコンディショナ間の通信ケーブルに必要な部材について以下に記載します。パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認の上、市販品を入手、加工してください。

部材名	サイズ・規格	数量
LAN ケーブル	LCD パネル-PCS 間の距離が 50m 以下： CAT5 以上、ストレート8芯、 AWG24 (0.2mm ²) 以上	1 本
	LCD パネル-PCS 間の距離が 90m 以下： CAT5 以上、ストレート8芯 AWG22 (0.3mm ²) 以上	

●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
精密ドライバー	マイナス、2.0mm	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2.LCD パネル - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

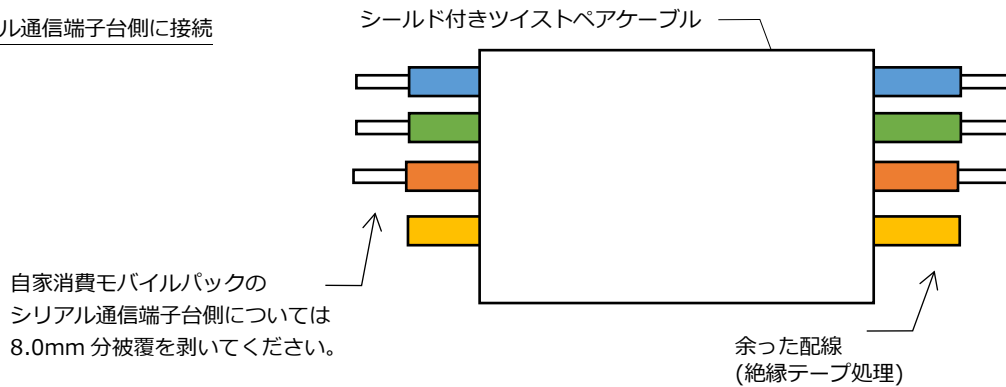
パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意し、両端の被覆を剥いてください。信号線およびシールド線のパワーコンディショナ接続側に、丸端子を圧着してください。

また、余った配線は、他の配線と接触しないよう絶縁テープ処理を施してください。

自家消費モバイルパック

シリアル通信端子台側に接続

LCD パネル側に接続



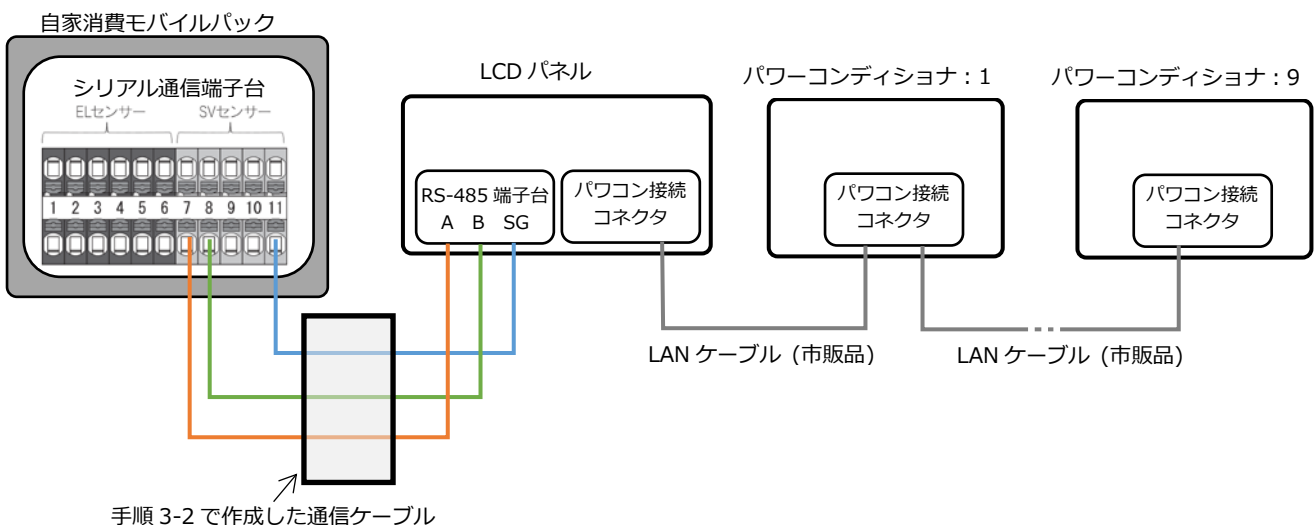
4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意> 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

手順 3-2 で加工したケーブルで、自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台と LCD パネルの RS-485 端子台間を接続してください。自家消費モバイルパックシリアル通信端子台の挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。挿入後、精密ドライバーの押さえを開放しますと通信線が固定されます。通信線を軽く引いて、抜けが生じないか確認してください。LCD パネル側の RS-485 端子台の位置、接続方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認ください。

また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、同様に施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●通信ケーブル取付け全体図 (例：P61B552SJ 9 台接続の場合)



※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

● LCD パネル-SV センサ間通信ケーブル取付け部分図

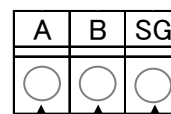
自家消費モバイルパック シリアル通信端子台

挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。

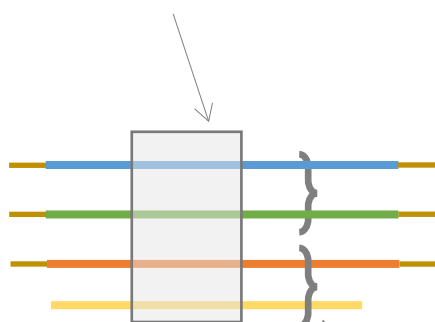


LCD パネル RS-485 端子台

端子台のツメをマイナスドライバーで押さえながら、端子穴に電線を差し込みます。



シールド付きツイストペアケーブル



ツイストペア線

※余った配線は絶縁テープ処理してください。

※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

● 結線対応表

自家消費モバイルパック シリアル通信端子台		LCDパネル RS-485端子台
ピン番号	信号名	信号名
7	TX+	通信信号 A
8	TX-	通信信号 B
11	SG	通信信号用グランド GND

5. その他

5-1. パワーコンディショナのスレーブ設定

パワーコンディショナの取扱説明書等に従い、パワーコンディショナをすべてスレーブ機に設定してください。

5-2. パワーコンディショナの装置番号(局番)設定

パワーコンディショナの取扱説明書等に従い、パワーコンディショナの装置番号(局番)を設定してください。

※装置番号(局番)は1～9の範囲で設定してください。

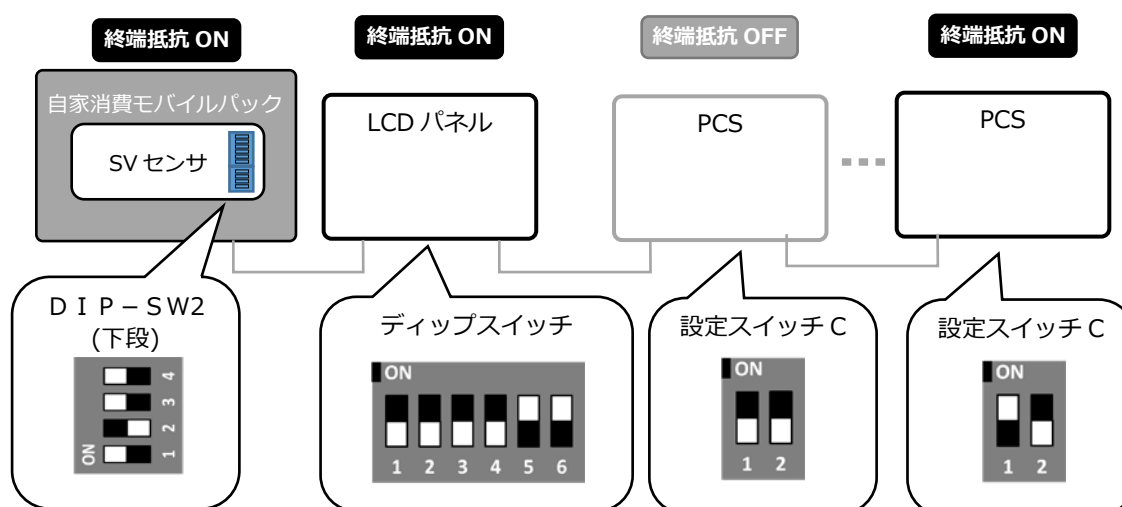
5-3. 終端抵抗の設定

SVセンサ及び、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。

**<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。
SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。**

- ・ **自家消費モバイルパック :**
SVセンサの終端抵抗設定が有効 (DIP-SW2 の 1 番が ON) になっていることを確認してください。
- ・ **LCD パネル TYPEⅢ :**
LCD パネルの終端抵抗設定を「ON」(設定する)にしてください。
※ディップスイッチ 5 番、6 番を ON に設定してください。
- ・ **パワーコンディショナ :**
終端にあるパワーコンディショナの終端抵抗設定を「ON」(設定する)にしてください。
通信経路の間にある他のパワーコンディショナについては、「OFF」(設定しない)にしてください。

● 終端抵抗の設定



※スイッチの図は、スイッチの状態を白の四角で表しています。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。